

# 2007年 生体運動研究合同班会議プログラム: 2007年1月7日(日)~9(火)

金沢市文化ホール 大ホール

(最終確定版)

## 第1日目:1月7日(日) 午前

	10:30 - 10:40	会場、発表形式の説明と案内(世話人 安藤敏夫)
	10:40 - 11:10	追悼講演
1.	11:10 - 11:20	細胞一個に見る熱産生ーカルシウム動態との共役ー * 鈴木 団 <sup>1</sup> 、Vadim Tseeb <sup>2</sup> 、大山 廣太郎 <sup>2</sup> 、石渡 信一 <sup>1,2</sup> (1 早大・ASMeW、2 早大・理工・物理)
2.	11:20 - 11:30	Ca <sup>2+</sup> イメージングと膜電位イメージングによる心筋細胞間伝導の検討 * 呉林 なごみ <sup>1</sup> 、西澤 寛人 <sup>2</sup> 、中里 祐二 <sup>2</sup> (1 順天堂大・医・薬理、2 順天堂大・医・循環器内科)
3.	11:30 - 11:40	トランスポゾンを用いた Ca <sup>2+</sup> 遊離チャネル機能解析の試み * 村山 尚、榎山 拓、呉林 なごみ、末松 那都、高橋 由以、桜井 隆 (順天堂大・医・薬理)
4.	11:40 - 11:50	カタユウレイボヤ精子走化性時における鞭毛内カルシウムの変化 * 柴小 菊 <sup>1</sup> 、馬場 昭次 <sup>2</sup> 、吉田 学 <sup>1</sup> (1 東京大・院理・臨海、2 お茶大・院人間文化)

お昼休み

## 第1日目:1月7日(日) 午後

5.	13:00 - 13:10	アクチンなしの筋フィラメント格子における筋節長・温度・イオン強度の効果 * 木村 雅子 <sup>1</sup> 、山口 眞紀 <sup>1</sup> 、大野 哲生 <sup>1</sup> 、奥山 博司 <sup>2</sup> 、豊田 弘子 <sup>2</sup> 、谷島 雄一郎 <sup>1</sup> 、八木 直人 <sup>3</sup> 、竹森 重 <sup>1</sup> (1 慈恵医大・生理第1、2 川崎医大・生理学、3 高輝度光科学研究センター)
6.	13:10 - 13:20	弛緩、収縮中の骨格筋細いフィラメントのトロポニンを含めた構造モデリング * 松尾 龍人 <sup>1</sup> 、上野 豊 <sup>2</sup> 、武澤 康範 <sup>1</sup> 、若林 克三 <sup>1</sup> (1 阪大院・基礎工、2 電総研・脳神経)
7.	13:20 - 13:30	ウサギ骨格筋トロポミオシン C 末端フラグメントの結晶構造解析と結晶構造から見るトロポミオシンの柔軟性 * 南方 志帆 <sup>1</sup> 、似内 靖 <sup>1,2</sup> 、前田 佳代 <sup>1</sup> 、小田 直子 <sup>1</sup> 、若林 克三 <sup>3</sup> 、前田 雄一郎 <sup>1,2,4</sup> (1 ERATO 前田アクチンフィラメント動態プロジェクト、2 理研播磨、3 阪大院・基礎工、4 名古屋大学)
8.	13:30 - 13:40	骨格筋の各種再構成フィラメントにおけるトロポミオシンの ESR 動的解析 * 植田 啓介 <sup>1</sup> 、木邑 崎山 智恵子 <sup>2</sup> 、相原 朋樹 <sup>2</sup> 、植木 正二 <sup>1</sup> 、三木 正雄 <sup>3</sup> 、荒田 敏昭 <sup>1</sup> (1 阪大・院理・生物、2 JST・ERATO、3 福井大・工)
9.	13:40 - 13:50	二枚貝マキガキトロポミオシンアイソフォームの同定と特性の解析 * 伊藤 篤子 <sup>1</sup> 、藤ノ木 政勝 <sup>2</sup> (1 慶応大・生物、2 独協医大・医)
10.	13:50 - 14:00	MITF の骨格筋生後発達における役割 * 山根 明 <sup>1</sup> 、篠原 暁子 <sup>2</sup> (1 鶴見大・歯・薬理、2 早稲田大院・人間科学)
11.	14:00 - 14:10	ハイブリッドアプローチによる細いフィラメントの原子モデル構築 村上 健二 <sup>1</sup> 、安永 卓生 <sup>1</sup> 、野澤 佳世 <sup>1</sup> 、富井 久美子 <sup>1</sup> 、* 若林 健之 <sup>1</sup> (1 帝京大・理工、2 九工大・情報)
12.	14:10 - 14:20	ニワトリ filamin の局在と結合タンパク質 * 大橋 一世 <sup>1</sup> 、越牟田 邦生 <sup>1</sup> 、大島 耕児 <sup>2</sup> 、森川 奈緒 <sup>2</sup> 、古田 良子 <sup>2</sup> 、間馬 彬大 <sup>2</sup> 、寺崎 朝子 <sup>2</sup> (1 千葉大・理・生物、2 千葉大・院・自然科学)
13.	14:20 - 14:30	グルタミン酸繰り返し刺激によるシナプス新生に関与するアクチン系調節タンパク質 * 田代 朋子 <sup>1</sup> 、河合 克宏 <sup>1</sup> 、富永 吉野 恵子 <sup>2</sup> 、小倉 明彦 <sup>2</sup> (1 青山学院大学理工学部、2 阪大院・生命機能)

休憩(10分)

14.	14:40 - 14:50	アクチン結合タンパク質 Iasp-2 の局在とリン酸化 * 寺崎 朝子 <sup>1</sup> 、坂本 幸子 <sup>1</sup> 、鈴木 淳子 <sup>1</sup> 、橋本 春菜 <sup>2</sup> 、大橋 一世 <sup>2</sup> (1 千葉大・院・自然、2 千葉大・理・生物)
15.	14:50 - 15:00	分裂酵母アクチンの精製とその性質 * 高橋 正勝、馬淵 一誠 (東大・院理・生化、東大・院総文・生命)
16.	15:00 - 15:10	ラメリポディアの形成促進に係る新たな分子機構 * 佐藤 真 (福井大学・医)
17.	15:10 - 15:20	細胞性粘菌における自発運動の解析 * 高木 拓明、佐藤 雅之、柳田 敏雄、上田 昌宏 (阪大院・生命)
18.	15:20 - 15:30	基質把握力の低下による細胞の移動速度の上昇 足立 浩章、濱生 こずえ、* 細谷 浩史 (広島大・院理・細胞生物学)
19.	15:30 - 15:40	ミオシン II のリン酸化による細胞質分裂速度の調節 * 浅野 智志、濱生 こずえ、細谷 浩史 (広島大・院理・細胞生物学)

20.	15:40 – 15:50	Rho シグナルを介した微小管プラス端による分裂面決定機構 * 上条桂樹 (藤田保健衛生大・医・解剖2)
21.	15:50 – 16:00	分裂準備帯に存在するエンドサイトーシス関連小胞の解析 * 峰雪芳宣 <sup>1</sup> 、唐原一郎 <sup>2</sup> 、須田甚将 <sup>2</sup> 、田原寛 <sup>1</sup> 、横田悦男 <sup>1</sup> 、新免輝男 <sup>1</sup> 、L. Andrew Staehelin <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 兵庫県立大・院・生命、 <sup>2</sup> 富山大・院・理工、 <sup>3</sup> コロラド大 MCD Biology)
22.	16:00 – 16:10	細胞板形成における微小管動態 * 村田隆 <sup>1,2</sup> 、佐野俊夫 <sup>3</sup> 、馳澤盛一郎 <sup>3</sup> 、長谷部光泰 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 基生研・生物進化、 <sup>2</sup> 総研大・基礎生物、 <sup>3</sup> 東京大院・新領域)
休憩(10分)		
23.	16:20 – 16:30	抽出した有糸分裂紡錘体のダイナミクス—顕微操作と観察— * 板橋岳志 <sup>1</sup> 、阿部祐大 <sup>1</sup> 、高木潤 <sup>1</sup> 、山田裕美 <sup>1</sup> 、島本勇太 <sup>2</sup> 、Jedidiah Gaetz <sup>2</sup> 、Jenny Z. Liu <sup>2</sup> 、Tarun M. Kapoor <sup>2</sup> 、石渡信一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 早大・理工・物理、 <sup>2</sup> Rockefeller 大)
24.	16:30 – 16:40	心筋細胞は分化後に増殖サイクルに入る * 林真一、井上明男 (阪大院・理)
25.	16:40 – 16:50	細胞質分裂と核分裂過程に関わる新規テトラヒメナフォルミン(BNI1, BNI2)の発見 * 武内史英、中野賢太郎、沼田治 (筑波大・生命)
26.	16:50 – 17:00	高圧力下でのバクテリアの運動観察 * 西山雅祥 <sup>1</sup> 、曾和義幸 <sup>2</sup> 、熊崎茂一 <sup>1</sup> 、木村佳文 <sup>1</sup> 、中間通夫 <sup>3</sup> 、石島秋彦 <sup>4</sup> 、寺嶋正秀 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京大院・理、 <sup>2</sup> Oxford Univ.、 <sup>3</sup> 名大院・理、 <sup>4</sup> 東北大・多元研)
27.	17:00 – 17:10	脳に局在しアルツハイマー病に関係するリン酸化タウ結合蛋白質 Gas7 秋山弘匡 <sup>1</sup> 、東誉人 <sup>1</sup> 、辛龍雲 <sup>2</sup> 、原田彰宏 <sup>3</sup> 、* 内田隆史 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東北大院・農、 <sup>2</sup> 東北大院・医、 <sup>3</sup> 群馬大院・医)
28.	17:10 – 17:20	Gas7 は微小管重合中間体シート構造を安定化する新規の重合促進因子である * 伊藤知彦 <sup>1</sup> 、秋山弘匡 <sup>2</sup> 、臼田信光 <sup>3</sup> 、永山國昭 <sup>4</sup> 、内田隆史 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 名大院・理、 <sup>2</sup> 東北大院・農、 <sup>3</sup> 藤田保健衛生大、 <sup>4</sup> 岡崎統合バイオサイエンスセンター)
29.	17:20 – 17:30	F1-ATPase の $\gamma$ - $\beta$ fusion mutant の回転 * 小堀綾子 <sup>1</sup> 、城口克之 <sup>1</sup> 、吉田賢右 <sup>2</sup> 、木下一彦 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 早大・理工、 <sup>2</sup> 東工大・資源研)
30.	17:30 – 17:40	外部トルク存在下での F1 モーターの回転 中山(渡部)隆宏 <sup>1</sup> 、* 宗行英朗 <sup>2</sup> 、杉山滋 <sup>3</sup> 、工藤成史 <sup>4</sup> 、吉田賢右 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東工大・資源研、 <sup>2</sup> 中央大・理工・物理、 <sup>3</sup> 食品総合研究所、 <sup>4</sup> 桐蔭横浜大・工)
31.	17:40 – 17:50	人工分子モーターモデル系の構築と熱力学 * 木原伸浩 <sup>1</sup> 、牧田佳真 <sup>2</sup> 、高田十志和 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 神奈川大学・理、 <sup>2</sup> 東工大院・理工)
32.	17:50 – 18:00	モーター蛋白質を動力源としたマイクロマシンを目指して * 平塚祐一 (北陸先端大・マテリアル、JST・さきがけ)
<b>第2日目:1月8日(月) 午前</b>		
33.	9:00 – 9:10	ホヤにおける鞭毛と繊毛の軸糸構成成分の違い * 紺野在、稲葉一男 (筑波大・下田臨海)
34.	9:10 – 9:20	繊毛逆転機構の再構成に向けて * 野口宗憲、関誠、久富理、山崎弘樹 (富山大院・理工)
35.	9:20 – 9:30	ダイニン・微小管運動機構の構造学的研究 * 上野裕則 <sup>1</sup> 、安永卓生 <sup>2</sup> 、真行寺千佳子 <sup>3</sup> 、広瀬恵子 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 産総研・セルエンジニアリング、 <sup>2</sup> 九工大・情報工、 <sup>3</sup> 東大院・理)
36.	9:30 – 9:40	ウニ精子ペン毛軸糸のX線回折 * 上村慎治 <sup>1</sup> 、杉山貴昭 <sup>1</sup> 、岩本裕之 <sup>2</sup> 、藤澤哲郎 <sup>3</sup> 、杉本泰伸 <sup>4</sup> 、若林克三 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東大・総合文化、 <sup>2</sup> JASRI、 <sup>3</sup> 理研、 <sup>4</sup> 阪大・基礎工)
37.	9:40 – 9:50	クラミドモナス鞭毛の X 線回折。 —ダイニン腕の構造変化の検出— * 鳥羽葉 <sup>1</sup> 、岩本裕之 <sup>2</sup> 、藤澤哲郎 <sup>3</sup> 、榊原齊 <sup>1</sup> 、大岩和弘 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> INICT・生体物性、 <sup>2</sup> Spring-8、 <sup>3</sup> 理研・播磨)
38.	9:50 – 9:00	クラミドモナス鞭毛のダイニン外腕の構造。 —クライオ電子線トモグラフィによる観察— * 榊原齊 <sup>1</sup> 、大岩和弘 <sup>1</sup> 、石川尚 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> INICT・生体物性、 <sup>2</sup> ETH・Zurich)
39.	10:00 – 10:10	Chlamydomonas 鞭毛での外腕ダイニン重鎖の位置決定 * 高崎寛子 <sup>1</sup> 、劉中美 <sup>2</sup> 、神谷律 <sup>2</sup> 、安永卓生 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 九工大・情報工・生命、 <sup>2</sup> 東京大学・理)
40.	10:10 – 10:20	クラミドモナス鞭毛に微量存在する3種の新規内腕ダイニン * 八木俊樹、神谷律 (東大・院理・生物科学)
41.	10:20 – 10:30	クラミドモナス蛋白質 Bld10p の centriole 構築における役割 * 平木まどか、神谷律、広野雅文 (東大・院理・生物科学)
休憩(10分)		

42.	10:40 – 10:50	ネキシリンク(周辺微小管間架橋構造)構成タンパク質の同定 * 柳澤春明、神谷律 (東大・院理・生物科学)
43.	10:50 – 10:00	ハムスター精子超活性化に対するメラトニンの影響 * 藤ノ木政勝 (獨医大)
44.	11:00 – 11:10	ダイニン分子内の微小管結合部位 – ATP 加水分解部位間の情報伝達機構 * 昆隆英、今村謙士、大倉玲子、須藤恵子、須藤和夫 (東大・総合文化・生命環境)
45.	11:10 – 11:20	細胞質ダイニンと微小管の相互作用 * 今村謙士、昆隆英、大倉玲子、須藤和夫 (東大・総合文化・生命環境)
46.	11:20 – 11:30	in vitro 滑り運動系における微小管の三次元トラッキング * 水谷佳奈 <sup>1</sup> 、政池知子 <sup>1</sup> 、大岩和弘 <sup>2</sup> 、榊原齊 <sup>2</sup> 、西坂崇之 <sup>1,3</sup> ( <sup>1</sup> 学習院大・理・物理、 <sup>2</sup> 情報通信研・関西、 <sup>3</sup> JST・さががけ)
47.	11:30 – 11:40	再構成キネシン繊維に沿った微小管滑り運動の揺らぎ解析 * 平田大悟 <sup>1</sup> 、田場登志希 <sup>1</sup> 、枝松正樹 <sup>2</sup> 、豊島陽子 <sup>2</sup> 、山田章 <sup>3</sup> 、今福泰浩 <sup>1</sup> 、太和田勝久 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 九大院・理、 <sup>2</sup> 東大院・総合文化、 <sup>3</sup> 通信総合研究機構・未来 ICT 研究センター)
48.	11:40 – 11:50	キネシン・微小管 in vitro 運動系を利用した物質輸送機構のシミュレーション * 新田高洋 <sup>1</sup> 、棚橋章仁 <sup>1</sup> 、ヘンリー・ヘス <sup>2</sup> 、平野元久 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 岐阜大・工・数理デザイン工、 <sup>2</sup> フロリダ大・物質科学工学科)
お昼休み		
<b>第2日目:1月8日(月) 午後</b>		
49.	13:00 – 13:10	細菌べん毛モーター基部体の細胞膜内拡散の可視化および解析 * 福岡創 <sup>1</sup> 、菅和義幸 <sup>2</sup> 、本間道夫 <sup>3</sup> 、石島秋彦 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学・多元研、 <sup>2</sup> オックスフォード大学・クラレンドン研究所、 <sup>3</sup> 名古屋大院・理)
50.	13:10 – 13:20	リボソーム内ペプチド結合が引き起こす翻訳初期状態への影響 * 上村想太郎 <sup>1</sup> 、Magdalena Dorywalska <sup>2</sup> 、Tae-Hee Lee <sup>2</sup> 、Harold Kim <sup>2</sup> 、Joseph Puglisi <sup>2</sup> 、Steven Chu <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東大院・薬、 <sup>2</sup> スタンフォード大・物理)
51.	13:20 – 13:30	対物外アボダイズド位相差法による細胞核内部の運動の可視化解析 * 加藤薫、三好洋美 (産総研・脳神経情報)
52.	13:30 – 13:40	Lasp-2 の細胞内局在を制御する分子内領域 * 中川裕之 <sup>1</sup> 、大橋一世 <sup>2</sup> 、宮本茂昭 <sup>3</sup> 、寺崎朝子 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 福岡大・理、 <sup>2</sup> 千葉大・理、 <sup>3</sup> 九工大・情報工、 <sup>4</sup> 千葉大院)
53.	13:40 – 13:50	海産サメ類ミオシンの尿素抵抗性 * 加納哲、船原大輔 (三重大院生資)
54.	13:50 – 14:00	貝類筋肉(貝柱筋・牽引筋)収縮の Ca 制御機構とその生化学的性質 * 矢沢洋一 (北教大旭川・健康福祉)
55.	14:00 – 14:10	各種機能断片を用いたアカザラガイ TnT の作用特性の解析 * 鈴木潜 <sup>1</sup> 、田中啓之 <sup>1</sup> 、大槻馨男 <sup>2</sup> 、尾島孝男 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 北大院・水産、 <sup>2</sup> 慈恵医大)
56.	14:10 – 14:20	キャッチ筋ミオシン・アクチン・twitchin 複合体の形成 * 船原大輔 <sup>1</sup> 、加納哲 <sup>1</sup> 、David J. Hartshorne <sup>2</sup> 、渡部終五 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 三重大院生資、 <sup>2</sup> アリゾナ大、 <sup>3</sup> 東大院農)
57.	14:20 – 14:30	精製タンパク質で再構成したキャッチ状態におけるフィラメント間結合の寿命 * 山田章、吉雄麻喜、大岩和弘(情報通信研・バイオ ICT)
休憩(10分)		
58.	14:40 – 14:50	ミオシンによる力を介した細胞接着構造形成の分子機構 * 米村重信 (理研 CDB)
59.	14:50 – 15:00	ミオシンの SH1 ヘリックス領域の変異が弾性と熱安定性に及ぼす影響 岩井草介 <sup>1,2</sup> 、花元大輔 <sup>1</sup> 、* 茶園茂 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 日大・文理・物理生命システム、 <sup>2</sup> 産総研・セルエンジニアリング)
60.	15:00 – 15:10	平滑筋ミオシンの 10Sコンホメーション形成における必須軽鎖の機能領域 * 加藤剛志 (旭川医大・1生化)
61.	15:10 – 15:20	電子分光クライオ電子顕微鏡法によるミオシン IX の解析 * 藤原真悟 <sup>1</sup> 、本間和明 <sup>2</sup> 、池辺礼子 <sup>2</sup> 、池辺光男 <sup>2</sup> 、安永卓生 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 九工大・情報工・生命、 <sup>2</sup> マサチューセッツ大・医)
62.	15:20 – 15:30	最速モーター車軸藻ミオシンのユニークなアクチン結合様式 * 伊藤光二、山口幸恵、市川洋祐、山本啓一 (千葉大・理・生物)
63.	15:30 – 15:40	シロイヌナズナにおけるクラス XI ミオシン、MYA2、の機能解析 * 橋本広祐、横田悦雄、新免輝男 (兵庫県立大・院・生命理学)
64.	15:40 – 15:50	ウニ卵 native myosin VI の性状 * 坂田宗平 <sup>1</sup> 、渡邊木綿子 <sup>1</sup> 、臼倉治郎 <sup>2</sup> 、馬淵一誠 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院総文・生命、 <sup>2</sup> 名大・先端技術セ)

65.	15:50 – 16:00	シウジョウバエ精子形成におけるミオシン 6 の働き * 野口立彦 <sup>1,2</sup> , Marta Lenartowska <sup>2</sup> , Debbie Frank <sup>2</sup> , Kathy Miller <sup>2</sup> (1 理研 CDB, 2 Washington University in St. Louis)
休憩(10分)		
66.	16:10 – 16:20	魚類ミオグロビンの特性 * 落合芳博 (東大院・農)
67.	16:20 – 16:30	魚類胚型ミオシン重鎖遺伝子の発現解析 池田大介, 小野陽介, * 渡部終五 (東大院・農)
68.	16:30 – 16:40	骨格筋ミオシン多分子化に伴う力発生機能の獲得 * 茅元司, 樋口秀男 (東北大・先進医工)
69.	16:40 – 16:50	MgATP で誘起されるミオシン1分子の構造変化 * 谷口美恵子, 平野智子, 鈴木繁仁, 山根隆 (名古屋大・工学部)
70.	16:50 – 17:00	フリーズレプリカ法で捉えた滑り運動中のミオシン分子の構造解析 * 木森義隆, 片山栄作 (東大・医科研・分子構造解析)
71.	17:00 – 17:10	滑り運動に伴うミオシン・クロスブリッジ・サイクルの再検討 * 片山栄作 <sup>1</sup> , 木森義隆 <sup>1</sup> , 馬場則男 <sup>2</sup> , 上田太郎 <sup>3</sup> (1 東大・医科研・分子構造解析, 2 工学院大・電気工学, 3 産総研・セルエンジニアリング)
72.	17:10 – 17:20	Are AlF <sub>4</sub> , BeF <sub>x</sub> and VO <sub>4</sub> <sup>-</sup> good substitutes of inorganic phosphate (Pi) in structural studies of motor proteins?: An energetic aspect * 児玉孝雄 (九工大・情報工・生命, JST・CREST・生命現象)
73.	17:20 – 17:30	ミオシン動作機構の統一理論 * 増田正 (東医歯大院・疾患生命)
74.	17:30 – 17:40	Oosawaモデルのもつ可能性 * 御橋広真 (日本福祉大)
75.	17:40 – 17:50	モーター蛋白および酵素のモデルとしての無限連成調和振動子における Weak Coupling と Strong Coupling の意味付けについて * 浅井博 (早大)
	17:50 – 18:20	全体会議
	18:30 –	懇親会(金沢ニューグランドホテル パレス 4F 金扇)
<b>第3日目:1月9日(火) 午前</b>		
76.	9:00 – 9:10	フォトンカウンティングヒストグラム法による線状、らせん状アクチン線維の長さ分布計測 寺田尚史 <sup>1</sup> , 下澤東吾 <sup>2</sup> , 石渡信一 <sup>2</sup> , * 船津高志 <sup>1</sup> (1 東大院・薬, 2 早大・理工)
77.	9:10 – 9:20	量子ドットを用いたマウス腫瘍内細胞運動のイメージング * 権田幸祐 <sup>1</sup> , 渡邊朋信 <sup>2</sup> , 樋口秀男 <sup>1</sup> (1 東北大・先進医工, 2 JST)
78.	9:20 – 9:30	MAGI-1 タンデム WWドメインの NMR 構造解析 * 加藤有介, 永田宏次, 田之倉優 (東大応生化)
79.	9:30 – 9:40	アクチン線維切断に依存したキャッピングプロテインの速い分子解離動態 * 渡邊直樹, 辻貴宏, 東田知陽 (京大院・医)
80.	9:40 – 9:50	ドレブリン A は ADF/cofilin 活性を阻害する * 石川良樹, 中村彰男, 小浜一弘 (群馬大院・医)
81.	9:50 – 9:00	脊索動物ナメクジウオのネブリンC末端と結合するタンパク質 * 花島章 <sup>1</sup> , 窪川かおる <sup>2</sup> , 木村澄子 <sup>1</sup> (1 千葉大・理, 2 東大・海洋研)
82.	10:00 – 10:10	細胞分裂におけるコフィリンリン酸化の役割 * 梶紀子, 大橋一正, 水野健作 (東北大院・生命科学)
83.	10:10 – 10:20	NMR による F-アクチン水溶液中のプロトン拡散係数測定 * Gan Xin Ying, 宮崎崇, 鈴木誠 (東北大院工)
84.	10:20 – 10:30	アクチンフィラメント周りのハイパーモバイル水の誘電吸収ピークの検出と KCl 添加による減少 * 宮崎崇, 佐藤淳, 鈴木誠 (東北大院工)
休憩(10分)		
85.	10:40 – 10:50	血管平滑筋アクチンフィラメントには IQGAP1 が結合している * 岡本洋, 遠藤航 (室蘭工大・応化)
86.	10:50 – 11:00	ファロイジンとアクチン線維の結合について 辻本夏美, * 黒田正明 (島根大・生科)

87.	11:00 – 11:10	MAP4 がアクチンに結合するとフィラメントの形態が変化する * 松島一幸、小谷享 (神奈川大・理)
88.	11:10 – 11:20	優性変異アクチンの機能解析 * 野口太郎 <sup>1,2</sup> 、上田太郎 <sup>1,2</sup> (1 産総研・セル、2 筑波大・生命環境)
89.	11:20 – 11:30	アクチンモノマー2分子間に働く高分子込み合い効果の計算 * 上田浩貴、入佐正幸 (九工大院・情報工)
90.	11:30 – 11:40	滑り運動するアクチン繊維の高さ変動の時間周波数解析 * 国田美穂子 <sup>1,3</sup> 、櫻沢繁 <sup>1</sup> 、本多元 <sup>2</sup> (1 はこだて未来大院・システム情報、2 長岡技大・生物系、3 JSPS 特別研究員)
91.	11:40 – 11:50	ESR でわかった微小管に結合したキネシン・ループ L11 の動的構造 山田正文 <sup>2</sup> 、近藤和典 <sup>2</sup> 、前田英勝 <sup>2</sup> 、丸田晋策 <sup>2</sup> 、* 荒田敏昭 <sup>1</sup> (1 阪大・院理・生物、2 創価大・工・生命情報工)
92.	11:50 – 12:00	荷電粒子の微小管に沿ったブラウン運動は静止と並進運動の2状態からなる * 箕浦逸史、武藤悦子 (理研・脳)
お昼休み		
<b>第3日目:1月9日(火) 午後</b>		
93.	13:00 – 13:10	ncd の coiled-coil 領域の特性と運動機能の相関 * 牧野司 <sup>1</sup> 、森井尚之 <sup>2</sup> 、清水隆 <sup>2</sup> 、多田隈尚史 <sup>3</sup> 、富重道雄 <sup>3</sup> 、田之倉優 <sup>1</sup> (1 東大院・農生科、2 産総研、3 東大院・工)
94.	13:10 – 13:20	新規キネシン様タンパク質による植物細胞質分裂の制御 * 日渡祐二 <sup>1,2</sup> 、小原真理 <sup>3</sup> 、藤田知道 <sup>4</sup> 、村田隆 <sup>1,2</sup> 、長谷部光泰 <sup>1,2</sup> (1 基生研・生物進化、2 総研大・基礎生物、3 JST・ERATO、4 北大・院理)
95.	13:20 – 13:30	非筋細胞ミオシン II 尾部フラグメント発現によるアイソフォーム特異的機能阻害 * 佐藤政秋 <sup>1</sup> 、高橋正行 <sup>1</sup> 、矢澤道生 <sup>2</sup> (1 北大院・理、2 北大院・先端生命)
96.	13:30 – 13:40	細胞伸展時における非筋細胞ミオシン II アイソフォームの役割 * 平田尚也 <sup>1</sup> 、高橋正行 <sup>1</sup> 、矢澤道生 <sup>2</sup> (1 北大院・理、2 北大院・先端生命)
97.	13:40 – 13:50	ミオシン5の ATP 加水分解と変位の同時計測 * 小森智貴 <sup>1</sup> 、西川宗 <sup>2</sup> 、有賀隆行 <sup>1</sup> 、岩根敦子 <sup>1,3</sup> 、柳田敏雄 <sup>1,2,3</sup> (1 阪大院・生命、2 CREST・JST、3 阪大院・医)
98.	13:50 – 14:00	高濃度蛍光 ATP で1分子イメージング * 須河光弘 <sup>1</sup> 、西川宗 <sup>2</sup> 、岩根敦子 <sup>1,3</sup> 、柳田敏雄 <sup>1,2,3</sup> (1 阪大院・生命、2 CREST・JST、3 阪大院・医)
99.	14:00 – 14:10	ミオシン V と VI の ADP 結合能は負荷方向で逆転する * 小口祐伴 <sup>1</sup> 、Sergey V. Mikhailenko <sup>1</sup> 、大木高志 <sup>1</sup> 、Adrian O. Orivales <sup>2</sup> 、Enrique M. De La Cruz <sup>2</sup> 、石渡信一 <sup>1</sup> (1 早大・理工・物理、2 Yale 大)
100.	14:10 – 14:20	高速 AFM によるアクトミオシン V の動態観察 * 古寺哲幸 <sup>1</sup> 、山本大輔 <sup>1,2</sup> 、安藤敏夫 <sup>1,2</sup> (1 金沢大・理・物理、2 JST・CREST)
101.	14:20 – 14:30	ミオシン V のカルシウム調節 * 田中慎一郎 <sup>1</sup> 、小出博史 <sup>1</sup> 、安藤敏夫 <sup>1,2</sup> (1 金沢大・理・物理、2 JST・CREST)
休憩(10分)		
102.	14:40 – 14:50	X 線で探る昆虫飛翔筋の謎 * 岩本裕之、井上勝晶、八木直人 (SPRING-8・JASRI)
103.	14:50 – 15:00	原子間力顕微鏡を使った骨格筋単一筋原線維の直径計測 * 宮代大輔 <sup>1</sup> 、藤田浩隆 <sup>1</sup> 、秋山直生 <sup>1</sup> 、国岡由紀 <sup>1,2</sup> 、山田武範 <sup>1</sup> (1 東理大・理、2 JST プラザ石川)
104.	15:00 – 15:10	粘菌アメーバの牽引力と分子動態の同時観察 * 岩楯好昭、祐村恵彦 (山口大院・医)
105.	15:10 – 15:20	アメーバ状細胞の形状と運動のシミュレーションモデル * 西村信一郎、笹井理生 (名大院工)
106.	15:20 – 15:30	マイコプラズマの細胞骨格はくらげ構造か？ * 中根大介 <sup>1</sup> 、宮田真人 <sup>1,2</sup> (1 大市大・院理、2 JST・さががけ)
107.	15:30 – 15:40	一細胞中の酵素活性測定技術の開発 * 岩澤朋之 <sup>1</sup> 、貴家康尋 <sup>2</sup> 、原田慶恵 <sup>2,3</sup> (1 慶應大・理工、2 CREST、3 都臨床研)